



●世界での状況について(GER をとりまく世界環境について)

昨年1月中旬以降、コロナ禍の中、海外との行き来が完全に止まりました。また、各国においてもロックダウン、ロックアウトが続いており、GERの海外業務は完全に停止致しました。市場開拓の全てを(ほぼ100%)海外に依存していた私たちGERにとっては大きなダメージでした。最盛期の売上げの90%DOWNという数字を見、本当に現実の厳しさを痛感した次第です。

●2021年も残り3か月半です。

この状況は今後大きく変わる要素は今のところ感じられません。

それどころか、となりの国中国では年間400万社以上の会社が倒産し、大きな社会問題を引き起こしているようです。私たちGERにとって残った2021年、約3か月半はどのような展望となるでしょうか。総括してみました。

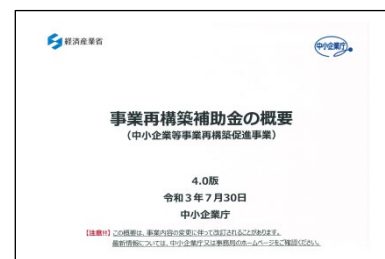
●日本国内における市場展望

- 広島、山口県において、将来大きなビジネスになるであろう芽が出てきました。
(1)農業 (2)造園 (3)厨房殺菌(飲食業、食品工場) (4)健康/保険 (5)安全(農薬除去)などの分野で ECOMIZER® Biomizer® は大活躍しています。

中でも「造園」は世界規模の展開になるでしょう。

- 広島地区以外でも関東、関西でエステ部門でも広がりをみせています。
また、大手製薬会社では ECOMIZER® を抗ガン剤曝露防止剤として採用、現在運用中です。

- GER 会員(東北)は、先日経済産業省が進めている「事業再構築補助会」6000万円の審査に受かり事業を本格的にスタートさせました。十分な資金の下、このビジネスが作り上げられていくと思います。

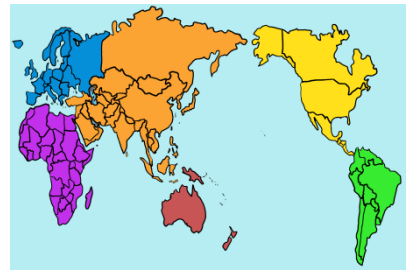


- GERの製品群の中で最も弱いのは食品工場(大型)の洗浄殺菌分野です。性能的には Biomizer® で十分対応できるのですが、1日に10トン~100トン使用されるので、生成能力的に全くGERの技術では対応できません。そのため、この分野のみ旭硝子(現・AGC株)製の電解次亜水「F・クローラ」を取扱う事としました。
先に述べた様に大型の食品工場向けとなります。



●海外における市場展望について。

- 中国の経済状況は極めて悪く、これからは更に悪くなるのであろうとの予想がされています。
- その中でも GER メンバーは本当に頑張っています。



- ECOMIZER®を用いた農業技術が中国農業省の指定技術として認承されました。
(新聞でも公示されました。) 多くの新しいニーズが生み出されています。
- ECOMIZER® / Biomizer® を用いて生産されている。
①サクランボ ②ミニトマト ③ブドウ ④茶 ⑤朝鮮人参の 5 種類が国の特産品に認定され、一般市場価格の 2 倍程度で販売されています。それでも供給が全く追いつかない状況です。
今後、この 5 品目 + α というように集中、集約した市場開拓方法に進んでいく事となります。
- カンボジアでは国の指定農業資材としての申請が 9 月から始まりました。
この認可がとれますと一気に市場が拡大していく事が予想されます。



Chan Narith 氏

PENG SENG DOCTOR WATER CO.,LTD(CEO)

●総括

この長く続くコロナ禍の中でも、市場の整理や新しい試みが続々と行われています。そして今コロナ以前とは異なった市場が形成されつつあります。

広島で行われている ECOMIZER®を用いた造園技術は世界初、そして世界規模の技術です。
GER としては全力で支援していく所存です。

(記事 太田 雄一)

各分野ごとに再開発された ECOMIZER®商品群

(価格は全て税別)



ECOMIZER

(農業用 1L)



ベジクリン

(農薬除去剤 1L)



ピカット

(除菌洗浄剤 3L)



クレイ

(飲用濃縮液 1L)



入浴パワー

(入浴剤 1L)



ミネラルの泉

(多元素共存鉱石 150g)